ケアが希望になる政治へ

日本共産党 衆議院東京12区 田原 聖子通信

No.005　2024年9月号

発行・日本共産党衆議院東京12区
田原聖子事務所
〒115-0042北区志茂2-53-7
☎5939-6581 FAX5939-6582

自民党政治を終わりに



異常な総裁選報道に怒りが沸き起こる

テレビなどのメディアで、自民党総裁選挙の報道が連日行われています。まだ出馬を表明していない候補者の行動まで逐一放送し、NHK に至っては、高校野球の生中継を打ち切って、ある候補者の出馬会見を生中継しました。あきれて言葉が出なくなりそうですが、甲子園を夢みて白球を追いかけて来た若者や保護者、学校関係者のみなさんを思うと、腹の底から怒りが沸き起こります。

自民党は、旧統一協会、裏金事件、異常円安など、安倍政治の負の遺産には目をつぶっています。テレビや新聞を総裁選キャンペーンに巻き込み、刷新感を出して党勢を回復、看板を差し替えて総選挙を有利に行い、みそぎにしようとしているのが見え見えです。

アメリカ・財界のための政治はもうごめん

今、米不足が深刻になっています。「スーパーに行っても一袋もなかった」、「子どもの 2 学期が始まったら、最初に配られたプリントは学校給食の米の種類の変更だった」など、悲鳴が聞こえています。農業関係者などから、備蓄米の緊急的な活用を求める要請が次々とされています。しかし、岸田政権は国民の声に寄り添うことなく、海外での日本食ブームを加速させるため、米の輸出を促進しています。とんでもありません。

来る総選挙では、国民の願いに背を向け、アメリカ言いなり、財界・大企業の利益最優先の政治を続ける自民党政治を終わりにしようではありませんか。

やるねー♪ 結ちゃん

ダウン症の子とともに 尊厳が尊重される社会をめざして

夏休みも終わり 2 学期がスタート。その最中に来春の高校進学に向けた面接へ。今後は願書の受け取り、入学相談、制服採寸、願書提出が待っています。

面接を終えた頃、「史上初の挑戦 特別支援学校の野球部」のタイトルに誘われて NHK の番組を視聴。高校野球地方大会に初出場の青鳥特別支援学校野球部で主将を務めた選手は、知的障害がある生徒には硬式野球は危険と言われたが、「やっぱり自分のやりたいことをやりたかった」と頑張り、念願の大会に出場。手に入れたのは、挑戦する楽しさ、かけがえのない仲間、そして自信でした。懸命に白球を追う青春の記録に教えられています。


スクールバスの運転手さん
「おはよう!」

まちで見つけたこんな店

Tokyo12haus のご近所にある CAFÉ & BAR。昨年 11 月に、「赤羽で安くて気軽に入れる BAR に」と開店したお店です。

確かに少々お安い。店は若いご夫婦で営業しています。店内はアニメのフィギュアやお洒落なソファーもあり、明るい雰囲気です。

平日はサラリーマンや 30 代の OL、土日はお母さんと小学生が多く、日替わりドライカレーやパスタをシェアするそうです。

名物料理は、オニオンリングとフライドポテトのアスノソラタワーで、高さは 30 センチを超えるので「4 人分ですね」。寄り道したくなったら入りたくなるお店です。



CAFE &BAR アスノソラ
北区赤羽2-19-8
☎050(1381)6637



総選挙で躍進を


参院議員・党委員長
田村 智子


衆院議員・東京20区重複
宮本 徹


医師・東京4区重複
谷川 智行


吉良・山添事務所長
坂井 和歌子

せーのでチェンジ

希望のもてる東京へ

日本共産党
前区議会議員 せいの恵子 都政レポート

No.002　2024年9月号
発行・日本共産党・せいの恵子事務所
〒115-0042 北区志茂2-53-7
☎5939-6581 FAX5939-6582

埼京線にホームドアを早く

JR東日本、国交省に要請



8月30日、日本共産党北区議員団、そねはじめ都議、田原聖子衆院東京12区国民運動部長らと、JR埼京線へのホームドア早期設置や無人改札の解消を求め、国交省、JR東日本に要請を行いました。

要請には、小池晃参院議員・党書記局長と吉良よし子、伊藤岳の両参院議員、米倉春奈都議も同席しました。

最初に、埼京線全駅への速やかなホームドア設置、ホームへの安全人員の配置、無人改札への人員配置などを求める要望書を、JRの担当者に提出しました。

私は、「ホームでは朝夕のラッシュで人があふれ、一歩間違えると転落の危険がある。利用者が安心安全に移動できるようにすべきだ」と発言しました。

JRは、りんかい線の車両入れ替えが進む2026、27年以降にホームドアの整備を順次進める」とのべました。



落下の危険と隣り合わせの十条駅ホーム





やっぱり平和が一番

平和のための北区戦争展

8月24・25日に北とぴあで開かれた戦争展に参加。満州からの引揚者の壮絶な体験を聞き、平和の大切さを痛感しました。



学費・子育てトーク

真ん中世代交流会

日本共産党がよびかけた「真ん中世代交流会」。子育て世代のみなさんとお話しする中で、生きづらい社会の実態が浮き彫りに。

せいの恵子の千思万考



若い人が将来に希望を持てる社会に

先日、30代から50代の皆さんと話し合う機会がありました。その時に話題になったのは、大学の学費と奨学金。「学費が高くてパイト代だけでなんとかできる時代は終わった」、「奨学金返済の負担が重く、自己破産を考える人もいる」、「未成年の中でも分断や格差が広がっている」など、自らの経験や子育て中の親としての実感が出されました。

今、大学生の半数が奨学金を利用し、その貸与総額の平均は324万円にもなります。多くの人が大学卒業後に奨学金という借金を背負い、13～20年という長期間にわたって返済を続けなければなりません。

私は、若い人が将来に希望が持てない社会を変えていきたい。

収入や環境での格差をなくし、高等教育無償化や給付型奨学金の拡充を求めていきます。

ご相談はお気軽に

お困りごと、ご相談があれば、田原聖子・せいの恵子事務所まで、お気軽にご連絡下さい。

TOKYO 12 HAUS

日本共産党田原聖子（国政）
せいの恵子（都政）事務所
〒115-0042北区志茂2-53-7
電話 03-5939-6581
FAX 03-5939-6582